

テーマ（記録システム導入による時間の創出）

法人名：社会福祉法人 菊愛会
事業所名：生活介護事業所すまいる
主な提供サービス：生活介護

機器導入前の事業所内の状況

◆様々な記録類などの事務作業が年々煩雑化していることで、支援スタッフが支援以外の業務に時間を多くとられることで時間外での業務になり、スタッフ間での口頭などによる伝達が主であったため、情報共有の漏れなどがあった。

業務の非効率

◆多数の書式、複数の記録用紙があり、それぞれに手書きで記入していることで時間と労力がかかっていた。また、口頭での情報共有などにより、うまく伝達できていない部分があった。

職員の負担増加

◆手書きでの記入には時間がかかる為、支援をしながらリアルタイムで記録を行うことが難しい場面もあり、記録の記入漏れなどが見られた。書類を探す際にも時間を要していた。

職場環境の課題
・
・
・

支援の質・量の確保

◆支援についての引継ぎ等がうまくできておらず、支援の統一が出来ていないことがあり、支援のバラツキにより利用者さんへの負担があった。

人材確保・定着

◆記録業務だけで時間と労力を使うため業務の負担量が多かった。

後から記録を行うことも多く、記入漏れや他の職員への状況聞き取りなどへも時間を要している。

テーマ（記録システム導入による時間の創出）

機器導入に至ったきっかけ

◆現状の課題となっている書類整理の部分を効率化でき、導入することにより職員の負担軽減と情報共有ができていない事での支援のバラツキによる利用者さんへの負担軽減が見込まれた為。

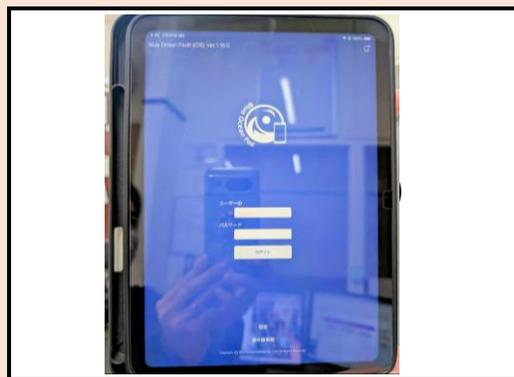
記録をデジタル化できることでペーパーレスや書類整理の時間を削減できる。

導入した機器

◆タブレット端末（5台）
（支援記録システム導入用）

活用方法・活用場面

◆毎日の記録全般。契約者の基本情報等。記録システムにより、書類整理の簡潔化。情報共有による全職員が利用者さんの状態把握や支援の統一。



テーマ（記録システム導入による時間の創出）

業務の効率化・生産性向上

◆記録システムにより、時間を取られず記録が可能になった。データとして残る為、リアルタイムで情報共有を行うことが可能となった。記録に取られていた時間を他の業務へ活用できる。

職員の負担軽減

◆タブレット端末により、記録をリアルタイムかつ効率よく記入することが出来ている。一人当たり1時間ほど労力の削減ができています。

職場環境の改善へ

支援の質・量の向上

◆記録システムにより、情報共有がスムーズになり、写真なども取り入れることでより支援の統一化が理解しやすくなった為、個人個人の支援のバラツキが減り、統一化ができるようになった。利用者さんの状態把握もタブレットにて把握できるため、今の利用者さんの状態に合わせた支援を行える。

人材確保・定着

◆記録システムで記録を一元化できるようになり、端末のみでほとんどの書類を整理することが可能になったことで職員の負担軽減と繋がっている。

職員の声や今後の展望等

◆記録時間が減らせたことで、利用者さんの支援や提供内容の見直しなどにその時間を当てられることで支援をやりやすくなった。利用者さんの状態を分かりやすく記録に残すことが出来ている。